

令和8年度

## 事業計画書及び収支予算書

公益社団法人

神奈川県ペストコントロール協会

令和7年度 第7回理事会

(令和7年12月18日)決定

# 令和8年度事業計画

## 概 況

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会の主要事業の一つである電話相談業務は昭和51年に開設し、その受付件数は令和6年の10,425件が過去最高でしたが、令和7年はさらに上回る10,714件となりました。

電話相談を受ける際には、「市町村に電話したところ、協会を紹介されました」との声が多いことから、市町村の生活衛生課などの窓口を当協会役員や委員会委員が資料を持参して隔年に訪問する行政PR活動の成果が表れてきていると自負しておりますし、平成16年から毎年6月初旬に開催する「ムシの日イベント（人に不快な虫・獣展）」に加えて、令和6年からは横浜市庁舎の公共スペースにおいてパネルを展示するなど、多くの方々にペストコントロールへの理解を深めていただいていると考えております。

協会では、利用者の皆さまに「協会の会員業者をお願いして良かった」、「何かあった時には今後もお願ひしたい」、「他の人にも薦めたい」と思われるよう、より一層のサービス向上をめざし、電話相談業務から施工に至るまでの過程をさらに充実し、悪質な業者を排除できればと考えております。

当協会感染症予防衛生隊の活動としては、高病原性鳥インフルエンザウィルスの県内への侵入を早期に発見するため、神奈川県から死亡野鳥回収業務を令和5年から継続して受託するとともに、近県や関係行政機関からの「鳥インフルエンザ対応に係る車両消毒支援動員」の依頼や、養豚場における豚熱の発生に伴う消毒業務の依頼があれば、いつでも迅速に対応できる態勢を引き続き維持してまいります。

協会創立55年を迎えた令和7年は、節目の年となりました。

2月には定時総会に合わせて、55周年記念式典・そ族こん虫慰霊祭・表彰式などを実施しました。

7月には激増する相談業務への対応や、協会業務を推進するため、事務局職員を1名採用しました。

11月にはヒアリ駆除の要請が増加することを想定して、先進事例を学ぶため、ヒアリ研究の第一人者である寺山守先生を団長として、会員とともに台湾への調査・研究事業を実施しました。

また、秋叙勲におきまして、原島利光会長が旭日双光章を受章されるという大変名誉なこともありました。

外部理事及び外部監事の設置が法律改正により義務化されたことなどから、令和8年は新たな体制で「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携の推進」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」、「空き家対策への参画」など様々な課題をテーマに検討を進め、事業を推進してまいります。

## 事業内容

### 1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

### 2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「ムシの日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

### 3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM(総合的有害生物管理)に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信fromかながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

### 4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進